

「^{ほめ}羽目をはずす」とか「^{うち}埒があかない」、あるいは「子はかすがい」などのことわざは、誰でも耳にしたことがあるでしょう。これらのことわざに共通することは何でしょうか？
そう、ここには「羽目／埒／かすがい」など日本の「住まい」にかかわる言葉が入っています。しかし、これらの言葉は、昨今あまり単独で耳にすることが少なくなってきました。

日本人に限らず、「住まい」とは世界中の人間に不可欠な生活要素で、かつ、その用途や形式は地域、民族、文化によって多種多様です。

今年度(2021年度)の言語文化研究所による比較言語文化意味論の研究は、この人間の根本的生活条件である「住まい」をめぐって、各言語圏の歴史や文化、言語にまつわる興味深い実態を探ってきました。風土や歴史的経緯、価値観や国民性など、一つ「住まい」という言葉の切り口で、様々な文化状況があぶり出され、思わぬ知見が山積しました。本シンポジウムでは、その一端をぜひ多くの方々にもご紹介できればと思っています。

▶ 日 時 令和4年 **2月26日** **土** 13:00~16:00

▶ 開催方法 「ZOOM」によるオンライン開催

▶ 主催 聖徳大学言語文化研究所

▶ 後援 松戸市教育委員会

▶ 司会 北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所長)

▶ パネラー 近藤 圭一(聖徳大学言語文化研究所准教授)

クリスティアン ブティエ(聖徳大学言語文化研究所准教授)

ピーター ヴィンセント(聖徳大学語学教育センター教授)

アダウト ジニーズ(聖徳大学語学教育センター准教授)

李 哲権(聖徳大学文学部文学科准教授)

佐々木 優(聖徳大学文学部文学科講師)

参加費
無料

要事前申込・先着順
(定員100名)

—各文化圏における住居に関する言語とその意味について考える—

「住まい」のことは

▶ 申込方法

参加ご希望の方は下記URLまたはQRコードより事前申込をお願いいたします。

<https://forms.office.com/r/p1BptdQyTM>

申込完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に講演会の案内メールを送らせていただきます。ご案内メールを受け取るために以下のドメインからのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

@wa.seitoku.ac.jp

7日を過ぎてもご案内メールが届かない場合はお手数ですがお問い合わせ先までご連絡ください。

申込期限 令和4年2月24日(木)



お問い合わせ

聖徳大学言語文化研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話: **047-365-1111** (大代表)

HP: <http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

